

東日本震災の被災者のもとへ 元気が出る黒糖も届けよう!

週刊 東北に黒糖を送ろう! 大作戦 しんぶん

*なぜ黒糖か

黒糖は、冷蔵しなくても傷まず、火も水も使わずに食べられる、救援物資に適した栄養食品です。

沖繩戦の戦火の下を逃げ惑い、力尽きて座り込んだ母親に「あんたが倒れたら背中の子供はどうなる。これを食べて元気を出しなさい」と、見知らぬ人が一片の黒糖を分けてくれたという逸話があります。

助け合う心と強い生命力とで、焦土から復興を遂げた沖繩から、励ましのメッセージを込めた黒糖を送りませんか?

皆さんからのご支援を、どうぞよろしく願います。

*民間のルートで

全国で救援物資の受付が始まっていますが、沖縄県で受け付ける救援物資リス

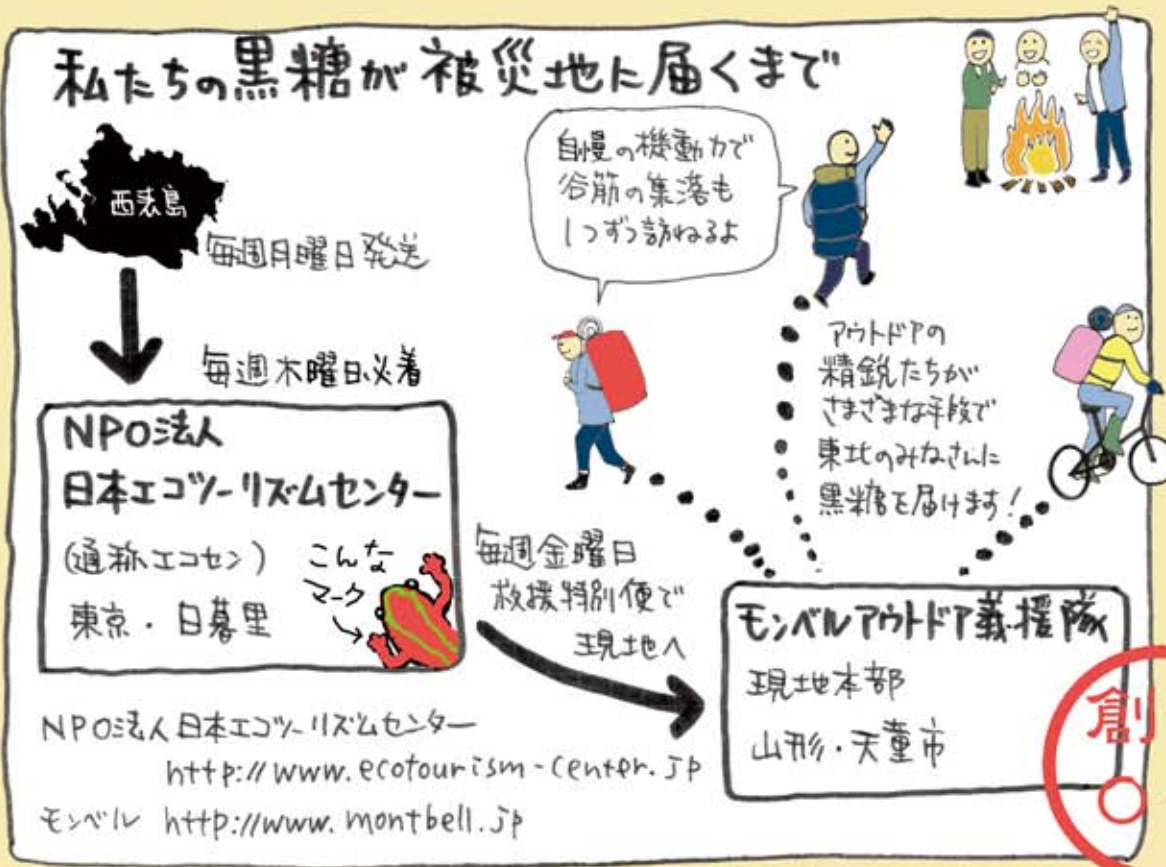
トの中に、食品は含まれていません。

私たち「西表島エコツーリズム協会」では、「NPO法人 日本エコツーリズムセンター」という民間団体を通して、被災地に黒糖を届ける方法をとることにしました。(下図参照)

*活動開始

3月21日に西表島エコツーリズム協会の寄付で、第一回の黒糖6箱(75袋)を送ります。引き続き、今度は多くの皆さんからの募金を加えて、より多くの黒糖を、東北に送りたいと思います。

当面の目標は黒糖30箱の送付、長期的な支援に関しては今後検討していきます。次回の黒糖の発送予定日は3月28日です。皆さんのあたたかいお気持ちをお待ちしています!



「自宅のある地域にチラシを配る」「職場に募金箱を置く」「仲間から寄付を募る」
「近所にある募金箱の管理や集計をする」「しんぶんを貼りかえる」など、
ちょこっとピンポイントお手伝いを引き受けてくださる方大募集!
お問い合わせはお近くの会員か西表島エコツーリズム協会まで (0980-85-6331)

毎週火曜日発行予定